

魔空GB通信



OVER
18age
ONLY



ふう……
最近の私の
団長さんに対する
もやもやとした気持ちは
何なのでしよう……

一度は敵対したのに
許されて……

その上
仲間として
迎え入れられも
して……

カタリナお姉さま
からの信頼も厚い
様子ですし……

この私が
カタリナお姉さま
以外に心が動くなど
ありえないはず……

これはもう……
自分の手で
確かめなくては……

というわけで
少々失礼します
団長さん♪

えっ なんて僕
こんな事に
なってるの?!

うふふ…
落ち着いてください
団長さん
何もおかしいことは
ありませんよ

かんっ

ほんっ

怖っ?!

部屋の隙間から
少々眠くなるお薬を
流し込んだだけ
ですから…

何故こんなことを
したかという
理由ですが…

私 少々自分で確認したい
事柄がありまして…
それに付き合っ
ていただきたいと思います

それに…
これは団長さんに
とっても悪いお話では
ないと思いますよ?

私が……団長さんの
性欲処理を
させていたきたいと
思うのですが……

えっ……
ヴィーラさんに
そんな事させる
わけには……!

いかがでしょう？

ご心配なく

性欲のままに
カタリナお姉さまを
襲ったりしないように……
という意味合いも
ありますから……

では失礼して……

そ……そんな事
しませんよ!?

あ……っ

あ……!



……男性器というものは
もつと勢いよく
雄々しく硬くなる
ものと聞いていましたが……



どちらかというど
ふにやふにやと
頼りない感じの
ような……

お……男は
興奮しないと
硬くならない
ものでして……

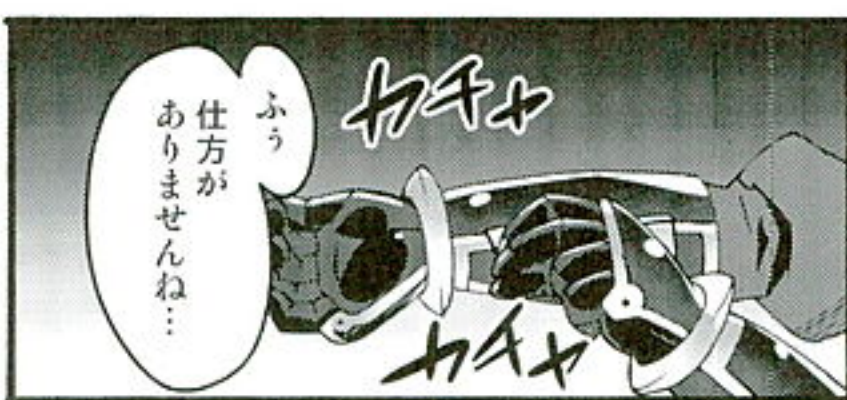


……あら？



そ……その手甲の
冷たさと硬さが
気になって……

……私にこれを
素手で触れと……？



ふう
仕方が
ありませんね……



それは……
私では興奮
できないと……？

そ、そういう
わけではなく！



……これでよろしい
ですか？



そしてこれを
擦り続ければ
射精に導くことが
できる……と

なるほど……これが
男性器の勃起という
現象なのですか……



はあ……

はあ……ッ



団長さんも
調子が出てきた
ようですね

……ですが



うああ……
柔らかくて少し
冷たい手が
気持ちいい……っ





んわっ!!



んわっ!!



いけない……
私もごくのを
続けないと……っ



あ……出る……



は……っあ

ああんっ♡

これが射精……
つまり男性の絶頂……
達した証……



まだまだ物足りない……といったところででしょうか？

う……すすいません……



ふふ……まさか団長さんに達させられてしまうとは……



……となるとやはり……



……まあ団長さんも上手く達せたようですし、よしとしましょう

……ですが



こうするしか……

ありませんね……♡

ヴィー ヴィーラさん
さすがにそれは……っ！

なんですか？
私では不満が？

そ……そういうわけじゃ
なくて仮にもアルピオンの
領主様にそんなことを
させるわけには……

それに……僕そういう
経験がありませんし……

あら……でしたら
別にお気遣いは
必要ありませんね

私も

うわあああっ？！

初めて
ですから♡



ウィーラさん
未経験なんだったら
こんな事まで
しなくても……!

ですが……その……

お……お気遣いなく……
これは私が必要と
判断したことです……

自分からしておいて
お恥ずかしい話ですが
力が入らなくな
ってしまっ……



申し訳
ありませんが……

続きをお願い
してもよろしい
ですか……?

じ……じゃあ……
失礼します……

だ……大丈夫
ですか……っ?!

だ……大丈夫……

痛いというよりかは
圧迫感が強くて
驚いてしまっただけで……

続けて……
もらえますか?



……お胸
見たいですか？

あっその
はい……

正直……
見たいです……



あ……あの
ツイーラさん
その……



これで……
いいですか？

ふふっ……

すっ……すっ……
綺麗です……っ！

ま まあ私も
身体つきには
少々自信が……

す……すっ……
柔らか……っ！



おにやう、

ちゅ

ちゅ

じっ…
自分でするのと
全然違って…!!

ちゅ

ちゅ

あ

ちゅ

な…なに?!

ちゅ

さ…気持ち…
じゅ…?!

ちゅ

ちゅ

ちゅ

お腹の中が
熱く…
疼いて…っ!!

ちゅ

ちゅ

ちゅ



だ…ダメ…ッ
これ以上
続けたら……

ても……っ
もっ……っ

はっ…あ♡

あっ♡

たろん

すすいません
もう僕……

出ちやい
そうで……

わんわん

ふわっ

えっ?!

たろん



やめないで……っ!!

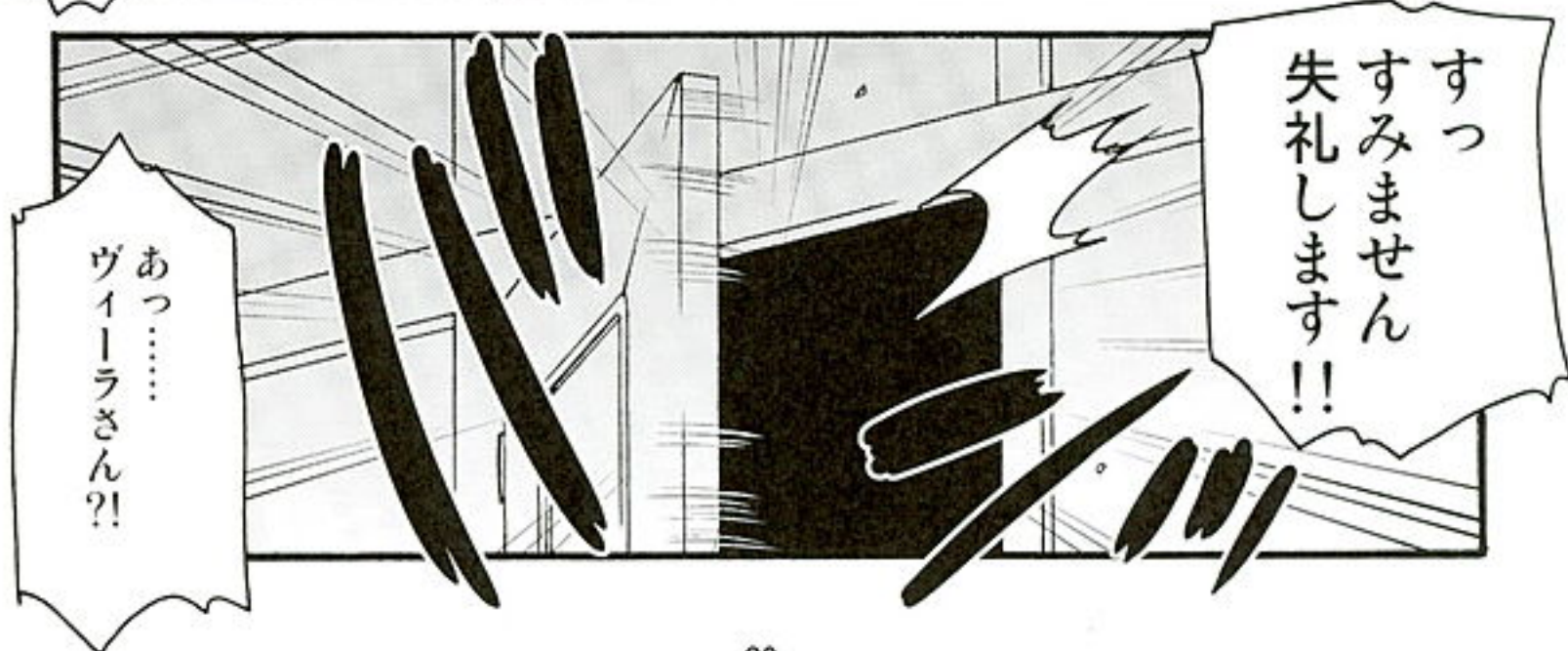
お……じ



ひゅひゅひゅ!!

急に……
お……までえっ



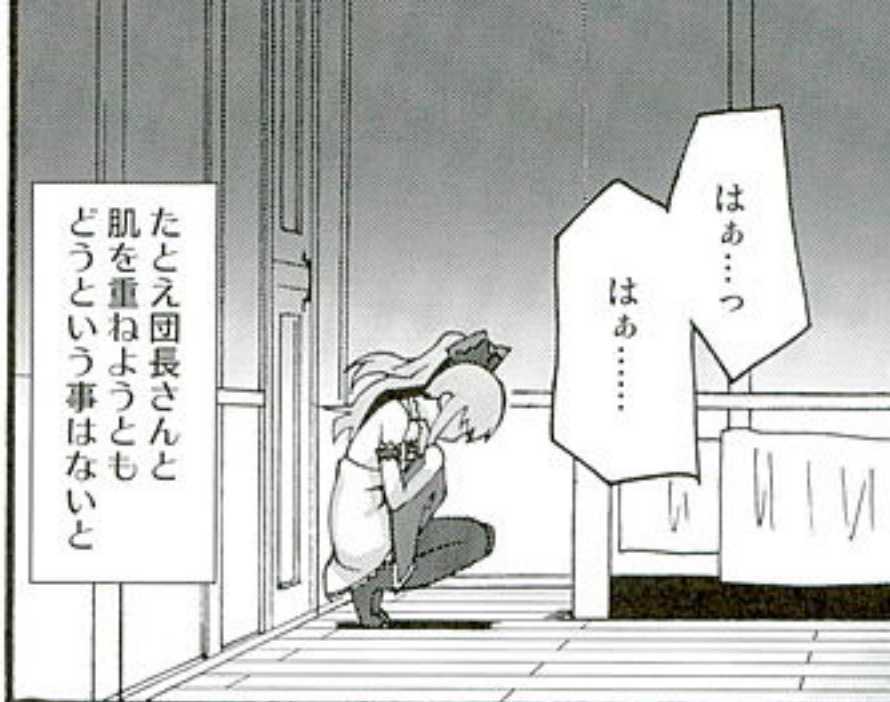


あっ……
ヴィーラさん?!



それを自らに
証明するために
行ったはずなのに……

……それなのに



はあ……っ

はあ……

たとえ团长さんと
肌を重ねようとも
どうという事はないと



自分から唇まで
求めてしまうなんて……

これではまるで
自分からとどめを
刺されに行った
ようなもの……

私を蕩かせ
続けている——

唇とお腹に
残った熱が

一時の気の迷い
だったということに
したくとも

魔
軍
団
空
ま
団

